

製品名: NRBP ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14886**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	58kDa

抗原情報

遺伝子名	NRBP1 BCON3 NRBP
別名	
遺伝子 ID	29959.0
SwissProt ID	Q9UHY1
免疫原	ヒトタンパク質の一部領域から得られた合成ペプチド

背景

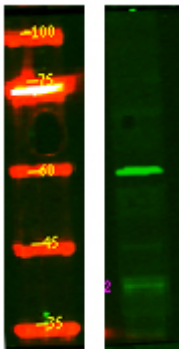
注意: 著者は、PubMed:11956649 で観察されたキナーゼ活性はサンプルの汚染による可能性があるとして述べています。このタンパク質は触媒的に不活性であると予測されます。、ドメイン: タンパク質キナーゼドメインは触媒的に不活性であると予測されます。、機

能: Rho 型 GTPase との相互作用を介して、小胞体とゴルジ体間の細胞内輸送に役割を果たす可能性があります。デングウイルス 2 型の NS3 タンパク質への結合は、この活性をフラビウイルスの複製に関連する細胞内膜構造の変化に転化させるようです。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。類似性: 1 つのタンパク質キナーゼドメインを含みます。細胞内局在: 活性化 RAC3 とともに、細胞内膜およびラメリポディアの細胞周縁部に共局在します。サブユニット: ホモ二量体。MLF1 に結合し、自身と MLF1 の両方をリン酸化させるセリンキナーゼをリクルートする。リン酸化 MLF1 は YWHAZ に結合し、細胞質内に留まる。組織特異性: 検査した全ての組織で普遍的に発現し、精巣で高発現する。注意: 著者は、PubMed:11956649 で観察されたキナーゼ活性はサンプルの汚染による可能性があるとして述べている。このタンパク質は触媒的に不活性であると予測される。ドメイン: このタンパク質キナーゼドメインは触媒的に不活性であると予測される。機能: Rho 型 GTPase との相互作用を介して、小胞体とゴルジ体間の細胞内輸送に関与する可能性がある。デングウイルス 2 型の NS3 タンパク質への結合は、この活性をフラビウイルス複製に関連する細胞内膜構造の変化へと転化させると考えられる。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。セリン/スレオニンタンパク質キナーゼファミリー。類似性: 1 つのタンパク質キナーゼドメインを含む。細胞内局在: 活性化 RAC3 と共存し、内膜およびラメリポディアの細胞周縁部に局在する。サブユニット: ホモ二量体。MLF1 に結合し、自身と MLF1 の両方をリン酸化させるセリンキナーゼをリクルートする。リン酸化 MLF1 は YWHAZ に結合し、細胞質内に保持される。組織特異性: 検査したすべての組織で普遍的に発現し、精巣で高レベルに発現する。

研究分野

-

画像データ



HEK293 の溶解物のウェスタンブロット分析。一次抗体は 1:1000 希釈。二次抗体は 1:10000 希釈。